

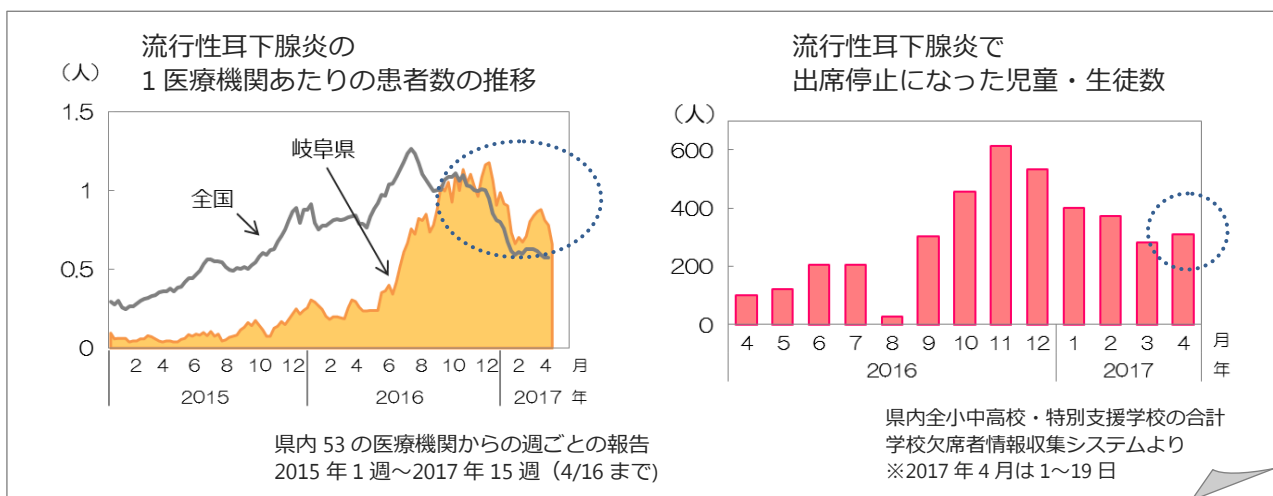
ぎふ感染症かわら版

平成 29 年 4 月 21 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）に注意しましょう！

県内で、昨年からおたふくかぜの流行が続いています。
医療機関からの報告によると、現在、
岐阜市・岐阜・西濃・東濃保健所管内で患者が多くなっています。
また、学校の児童・生徒の出席停止の人数は、今年に入って減少傾向でしたが、
4月に新学期が始まってから再び増加しています。今後もしばらくは注意が必要です。



どんな病気？

ムンプスウイルスによる感染症で、**耳の下が腫れて痛む**ことを特徴とします。
感染すると 2～3 週間後に、**発熱**と、両方または片方の
耳下腺（耳の下にあるだ液腺）の腫れと痛みなどの症状があらわれます。



通常は 1～2 週間で回復しますが、**無菌性髄膜炎**などの合併症を起こすことがあります。
難聴は、起こる頻度は少ないですが、治りにくく重大な合併症の一つです。

どう感染するの？ 予防方法は？

咳やくしゃみのしぶきによる**飛沫感染**や、
患者の唾液で汚れたものを介した**接触感染**により感染します。
流行時期には、**手洗い**や**咳エチケット**に一層心がけることが大切です。

また、おたふくかぜは**感染力が強い**ため、**ワクチンで予防**するのが効果的です。
任意接種ですが、1 歳から接種することができますので
かかりつけ医とよく相談して、接種することも考えてみましょう。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。
くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

